

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護学概論Ⅱ		NSP32_001	選択	1	3	前期
担当教員		研究室	電子メールID	オフィスアワー		
山崎 洋子		301	y.yamazaki	月曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	公衆衛生看護活動の特徴である地域住民の健康への働きかけを、事例等を通じて、対象特性、援助方法、関係する法令を理解する。また、公衆衛生看護活動に使用する諸理論やそれを展開する方法の概要と特徴を課題学習、遠隔授業で理解する。					
学習上の助言	公衆衛生看護学概論Ⅰでの学びを踏まえ、さらに他の看護学の知識を整理しながら学習する必要がある。					
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 最新 公衆衛生看護学 第3版 総論/2019年版/編:宮崎美砂子 他/日本看護協会出版会 厚生省の指標 増刊国民衛生の動向 2020/2021編 ワークブック 地域/公衆衛生看護活動事例演習/編:牛尾裕子、佐藤紀子、田村須賀子 [3冊指定] 					
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生看護学(第2版)/編:上野昌江 他/中央法規出版/2016 看護法令要覧 最新版/編:勝又浜子 他/日本看護協会出版会 公衆衛生がみえる 2020-2021/メディックメディア 最新公衆衛生看護学 第3版 各論1、各論2/編:宮崎美砂子 他/日本看護協会出版会 					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	公衆衛生看護活動と地域に生活する人々の健康問題との関連を説明できる			NS(1)～(5)		
②	公衆衛生看護活動の諸理論を用いて、実践事例を説明できる			NS(1)、(3)、(5)		
③	地域ケアシステムづくりの重要性を説明できる			NS(1)～(5)		
④	産業保健活動と行政看護活動との関連を述べられる			NS(1)～(5)		
⑤	学校保健活動と行政看護活動との関連を説明できる			NS(1)～(5)		
授業計画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション 公衆衛生看護活動と社会の変化		対面授業	公衆衛生看護学概論Ⅰの対面授業内容を整理する。		2
2	地域の健康問題と保健事業の展開		対面授業 演習	地域で生活している人の情報収集を行う。課題学習に取り組む。		4
3	公衆衛生看護活動の展開方法 地域住民の健康のアセスメントと健康課題		対面授業 演習	健康課題のアセスメントについて予習する。		4
4	公衆衛生看護活動の展開方法 地域住民への公衆衛生看護活動の展開過程		対面授業 演習	予習:居住地の保健事業について整理する。課題学習に取り組む。		4
5	公衆衛生看護活動の方法・技術1 ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ		対面授業 演習	予習:課題学習を進める。 復習:授業内容を整理する。		4
6	公衆衛生看護活動の方法・技術2 健康診査、健康相談		対面授業 演習	予習:課題学習を進める。 復習:授業内容を整理する。		4
7	公衆衛生看護活動の方法・技術3 地域ケアシステムづくりとネットワークづくり 住民の健康を考える地域組織の育成		対面授業 演習	予習:課題学習を進める。 復習:授業内容を整理する。		4
8	公衆衛生看護活動の方法・技術4 市町村保健師の活動の実際 地域・職域保健の連携		対面授業 演習	予習:課題学習を進める。 復習:授業内容を整理する。		4
試	定期試験					

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	30	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		20	10	0	0	0	30
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	筆記試験とし、保健師国家試験の出題問題も範囲とする。				メールで回答の解説を送付する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	演習した項目について整理し、公衆衛生看護活動について考察できているかを問う。				レポートはコメントし、返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	出席日数と提出課題の日程厳守等を総合的に評価する。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備考							
<p>担当教員:◎山崎 洋子、伊丹 幸子</p> <p>教員の実務経験:保健師として保健所、市町村に10年勤務、また、大学病院の医療連携室での退院調整や療養生活相談等に勤務。</p> <p>実践的授業の内容:保健所・市町村における行政保健師活動および訪問看護活動、さらに大学病院の医療連携室での退院調整や療養生活相談等の実務経験を元にして、内容を構築し、公衆衛生看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 ・大学から示されている感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・Teamsを使った同双方向型授業を実施する可能性があるため、通信容量無制限のWifi環境を推奨する。 ・今後、新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバス内容が一部変更となる可能性がある。 <p>・本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。</p>							